

1 敷島エリアグランドデザインとは

将来(50年先までを想定)の敷島エリアの価値を向上させるための「あるべき姿」を示し、今後のまちづくりや公園の整備・保全の指針とすることを目的に、県と前橋市において共同で策定するもの。

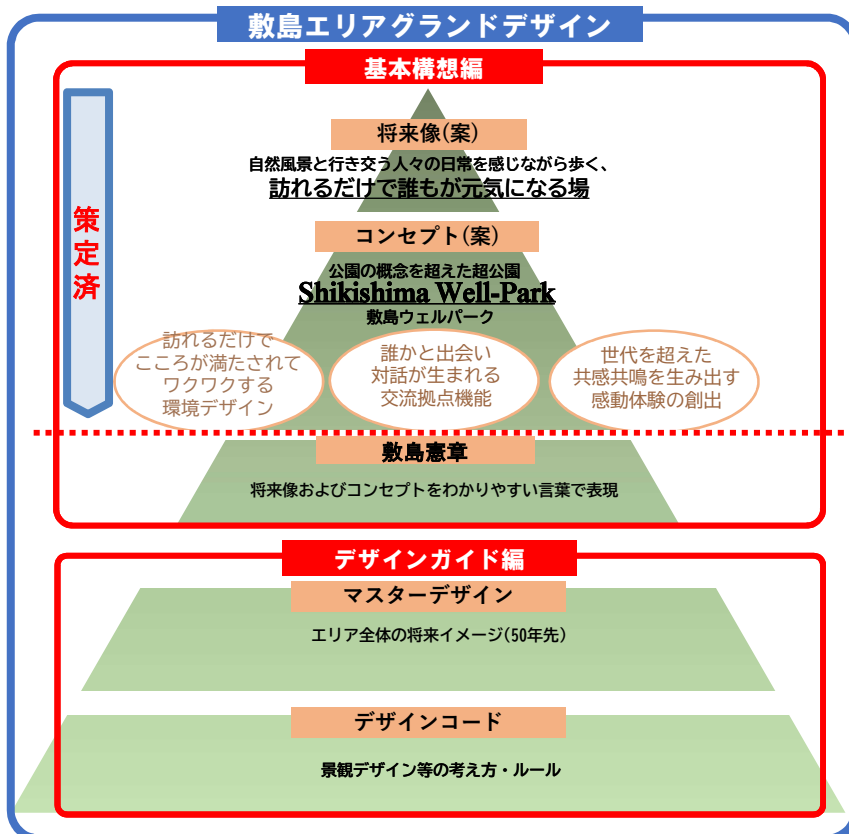
2 これまでの経緯について

令和3年度までに、敷島エリア及び周辺地域の現状、敷島エリアの背景と位置付け、広域での役割などの整理を行い、有識者等の意見を踏まえ、将来像(案)とコンセプト(案)を策定。

3 今後の検討内容について

- (1) 将来像(案)及びコンセプト(案)に基づく敷島憲章
 - (2) 基本構想編を踏まえたデザインガイド編のマスターデザイン及びデザインコード
- ※アドバイザー(谷川氏)の助言や有識者(橋本氏、村井氏等)の意見を受けながら検討し策定する。

概念図



エリア図



敷島エリアグランドデザイン
将来像(案)・コンセプト(案)

2023年2月

群馬県・前橋市

はじめに

敷島公園エリアのサステイナブル・デザイン。 訪れるすべての人々の健やかな体験と時間を約束する 新しいネイバーフッドとの出会いを創出します。

「わたしたちの日常に欠かせない場所」、「友人を誘ってまた訪れたい場所」という思いをいかに醸成し、継続させていくか。コミュニティを育み、“自分が自分らしく居られる”場所と時間をいかに創造するか。

その鍵は、地域が有する自然のなかで、健やかに生きるネイバーフッドたちとのつながりだと考えます。

地域の活気ある市民交流こそが、敷島公園全域の機運と熱量を持続させ、一体感のある親和性を生み出していきます。

——ウェルビーイング、生きがい、サステイナブル。

まちの魅力を持続的に高めていくことだけでなく、市民からでも事業者からでも地域からでも、「敷島公園がある前橋って素敵」と思われるような強いコミュニティづくりを目指して、この不確かな社会の中で、持続可能な地域の魅力づくりを提案します。

※1 サステイナブル…持続可能であるさま。特に、地球環境を保全しつつ持続可能な産業や開発などについて。 出典：デジタル大辞泉(小学館)

※2 ネイバーフッド…近所、付近、その区域を指す。また、近所の人々、近隣のよしみ、近所づきあい。 出典：ブログレックス英和辞典(小学館)

※3 ウェルビーイング…幸福、安寧、身体的・精神的・社会的に良好な状態。特に、社会福祉が充実し、満足できる生活状態にあること。 出典：デジタル大辞泉(小学館)

トピックス ①

Beyond 2065。変化が予測できる日本の未来課題

将来推計人口 でみる 2065年の日本

内閣府ホーム > 内閣府の政策 >
共生社会政策トップ >
高齢社会対策 > 高齢社会白書 >

内閣府 令和4年(2022)版高齢社会白書より

ア 9,000万人を割り込む総人口

イ 2.6人に1人が65歳以上、3.9人に1人が75歳以上

ウ 年少人口、出生数とも現在の半分以下に、生産年齢人口は4,529万人に

エ 現役世代1.3人で1人の高齢者を支える社会の到来

オ 男性84.95歳、女性91.35歳まで生きられる

トピックス ②

人生100年時代、SDGs、ポストコロナと並び、
近年グローバルアジェンダとして位置付けられる“Well-Being”意識の高まり



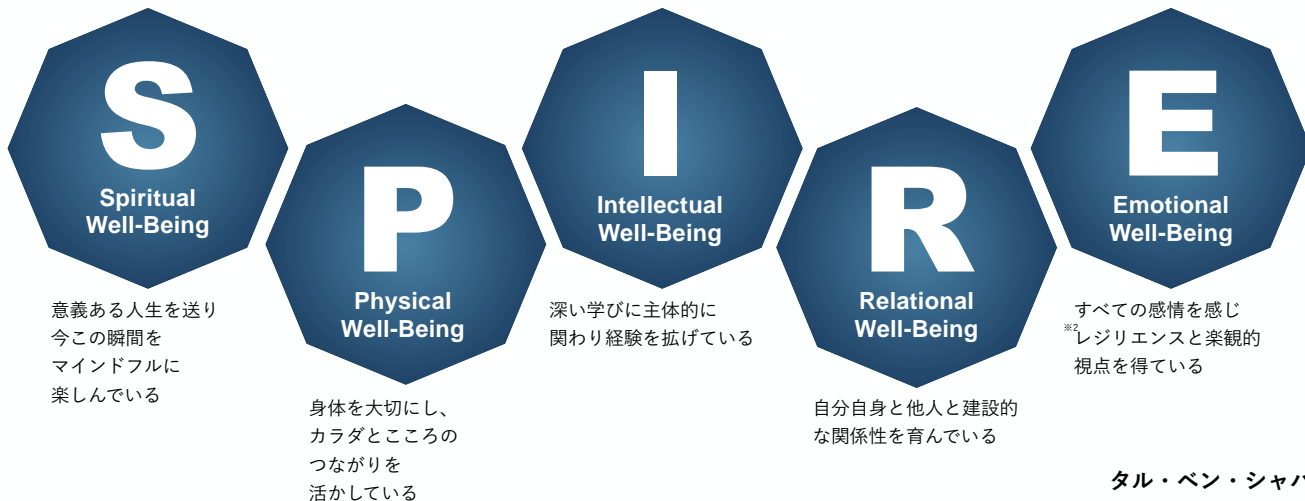
飛鳥新社
「GDW興国論 幸福度世界一の国へ」
下村博文(著)

GDW - 日本経済新聞
<https://well-being.nikkei.com/about>

トピックス ③

“心身ともに良好な状態”の向上と持続へむけて、

※1 Well-Beingを維持するための指標が、世界で注目されるように



タル・ベン・シャハー
心理学博士、教師、著述家

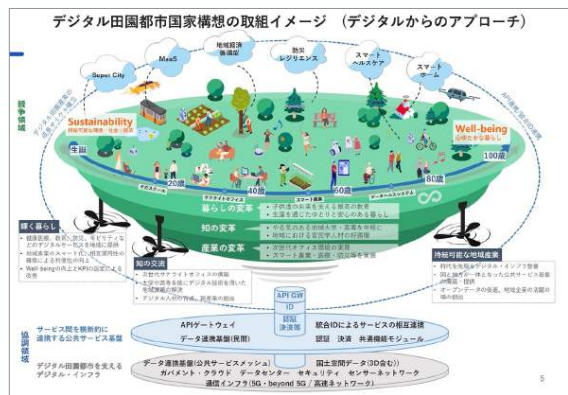
ハーバード大学で哲学と心理学を学び、組織行動論で博士号を取得。リーダーシップ開発組織「ポテンシャルライフ」の共同創業者兼チーフ・ラーニング・オフィサーとしてコンサルタントやゼミを行っている

※1 ウェルビーイング…幸福、安寧。身体的・精神的・社会的に良好な状態。特に、社会福祉が充実し、満足できる生活状態にあること 出典：デジタル大辞泉(小学館)

※2 レジリエンス：困難や脅威に直面している状況に対して、「うまく適応できる能力」「うまく適応していく過程」「適応した結果」を意味する言葉 出典：平凡社 心理学辞典

与件：これからのまちづくりを見据えて

都市間格差の解消と地域活性化を目指す「デジタル田園都市国家構想」 前橋スーパーシティ構想との連動を果たし、地域レジリエンスモデルとして構築



デジタル庁 デジタル田園都市国家構想より



デザインシティ前橋市街、健康促進敷島公園、自然共生赤城山。
好条件な環境や状況に既存基盤を組み合わし、新たな価値を創造する。
潜在するポテンシャルを活かし、差別化が容易かつ発信力の高い全体構想を目指す。

敷島公園エリアのあるべき姿

これからの社会に求められる状況を見据え、いかに時代を示す共感価値を取り込むのか敷島公園のポテンシャルを最大化し、話題性や満足性を向上するアプローチを考察



自然風景と行き交う人々の日常を感じながら歩く、

訪れるだけで誰もが元気になる場

基本構想：敷島公園エリア

公園の概念を超えた超公園

Shikishima Well-Park

敷島ウェルパーク

まちのウェルネス拠点、シキシマウェルパーク。
自然を感じ、生活者を感じ、今を生きることに感謝できる場所。
訪れる全ての人々の健やかな体験と時間を約束する、
世代を超えて愛される暮らしと公園が優しくつながる新たなまちづくり。

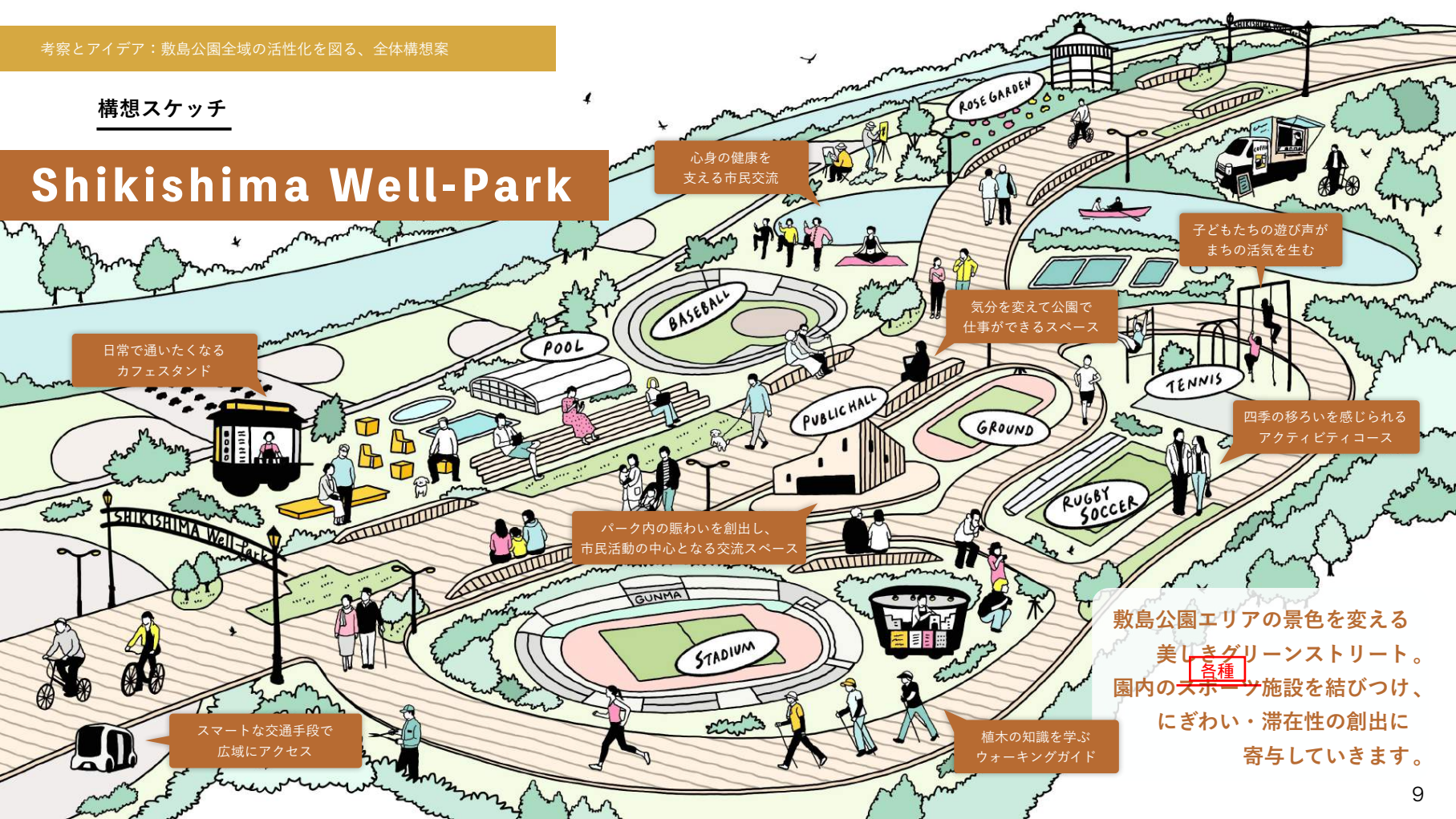
訪れるだけで
ころが
満たされワクワクする
環境デザイン

誰かと出会い
対話が生まれる
交流拠点機能

世代を超えた
共感共鳴を生み出す
感動体験の創出

構想スケッチ

Shikishima Well-Park



心身の健康を支える市民交流

子どもたちの遊び声が
まちの活気を生む

気分を変えて公園で
仕事ができるスペース

四季の移ろいを感じられる
アクティビティコース

日常で通いたくなる
カフェスタンド

パーク内の賑わいを創出し、
市民活動の中心となる交流スペース

敷島公園エリアの景色を変える
美しきグリーンストリート。
園内の各種施設を結びつけ、
にぎわい・滞在性の創出に
寄与していきます。

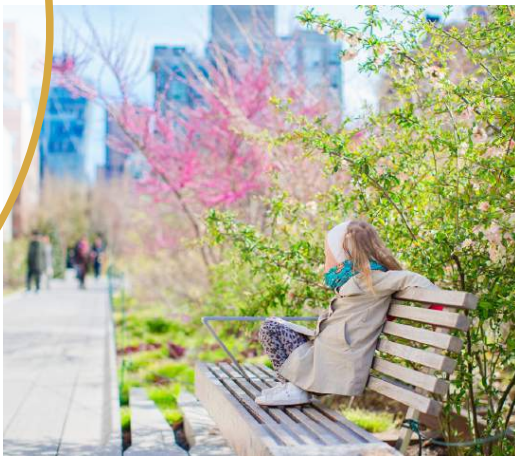
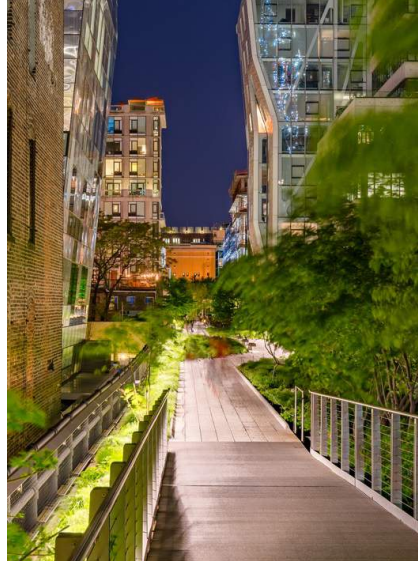
スマートな交通手段で
広域にアクセス

植木の知識を学ぶ
ウォーキングガイド

公園に求められる要素 ①

訪れるだけで こころが 満たされワクワクする 環境デザイン

運動する人も、しない人も。
お年寄りも家族も若者も。
それぞれがそれぞれの居心地を
見つけることができる空間とは。
目的があっても、目的がなくても
自然に足が向かってしまう
地域の憩いシンボルがここに。



公園に求められる要素 ②

誰かとの出会い 対話が生まれる 交流拠点機能

コミュニティの交流から生まれる
GDW[国内総充実]。
従来の運動公園機能はもとより
地域コミュニティのハブ機能も実装し
様々な世代の好奇心を刺激しながら
世代を超えた交流を生み出していく。



公園に求められる要素 ③

世代を超えた 共感共鳴を生み出す 感動体験の創出

互いを思いやる優しさの連鎖。
コミュニティの安心と信頼が
育まれるプログラムの実践。
自分以外の人々との偶発的な出会いや
温かなふれあいは何歳になっても
枯れることない好奇心を刺激する。



情景から生まれる交流と共創

ex.パークのシンボルとなる
パブリックアート



ex.ファミリーが集まるプレイパーク



ex.会話が弾む、ずっと居たくなる
パブリックファニチャー



COMMUNITY × NEIGHBORHOOD

ex.エリア分けされた
ラン/ウォークコース



ex.健康アプリと連動した
ランニングコース



ex.距離の目安となるコースサイン



ex.市民活動の中心となる
新しい交流スペース



ex.公園を移動できる
スマートモビリティ



事例①：ハイライン（アメリカ）

廃線跡を緑の遊歩道に再生し、
地域の価値向上に寄与した空中公園

ハイライン

ニューヨーク・アメリカ

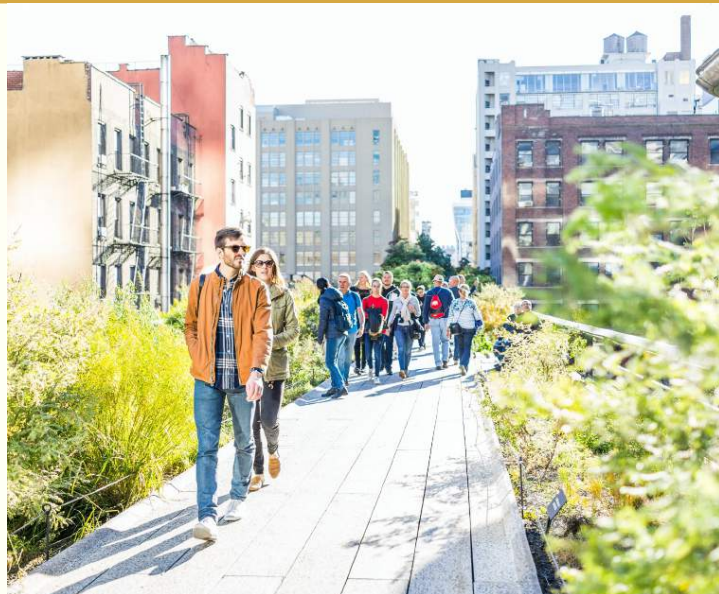


ニューヨーク市にある、高架貨物鉄道の線路跡地を散策路として再生した全長2.3kmの線形公園。建設には「周辺の不動産価値を高め、建設費を上回る経済効果」を実証する調査結果を公表し、設計コンペを行い支援を募った。地道な寄付集めや広報活動が実を結び、著名な俳優や投資家からも大口の寄付を得て資金調達に成功した。

波及効果

- 公園の知名度とともに周辺地価の上昇
- 年間500万人の来場者数を誇る
- オープン以来、20億円以上の民間投資を呼び込み、約1万2000人の雇用を創出
- エリア価値の向上により、周辺にホテル、高級アパート、レストランなどが建設された
- 魅力的な公共空間がエリア全体の価値を上げることを実証する手本となった

参考：公式HP [<https://www.thehighline.org>]



事例②：ザ・グズライン（オーストラリア）

線路跡地を公園機能を組み込み再生した
地域コミュニティ憩いの場

ザ・グズライン



シドニー・オーストラリア

シドニーで2015年に、元貨物鉄道線路跡地を空中庭園にリニューアルした「ザ・グズライン」。1kmもなない直線の公園だが、園内には子どものための遊具や、円形劇場、大きな共有テーブルや、コワーキングスペース等を設けており、近隣の学生や住民に大人気。活気に満ちたコミュニティ形成の場として、地域に寄与している。



波及効果

- ・wifiを完備しており、園内に設けられている「学習ポッド」でコワーキングも可能
- ・円形劇場では頻繁にイベントを開催。屋外での映画観賞会や、パフォーマンスが多く行われている
- ・バリアフリーの遊歩道のため、誰にでも歩きやすい道となっている
- ・数多くの、文化・教育機関が周辺にあり、緑の中でリフレッシュしたい利用者も多い

参考：公式HP [<http://thegoodline.aspect.net.au/>]

事例③：キングス・クロス駅（ロンドン）

ターミナル駅をつなぐオープンスペースを再開発
歴史遺産を多様な植物でつなぐ歩道公園

キングス・クロス駅



ロンドン・イギリス

ロンドンの都市再生計画において2011年にオープンしたエリア。多くの歴史的建造物が残る地域を歩行者中心ルートで再構築。公園と広場でつながったエリアにはオフィス、美術館、ストア、住宅、学校などの複合的な機能を統合し、運河を中心に造園で多様な植物で訪れる人々に憩いの場を提供。さまざまなイベントも開催され、コミュニティの中心地として成長をつづけている。



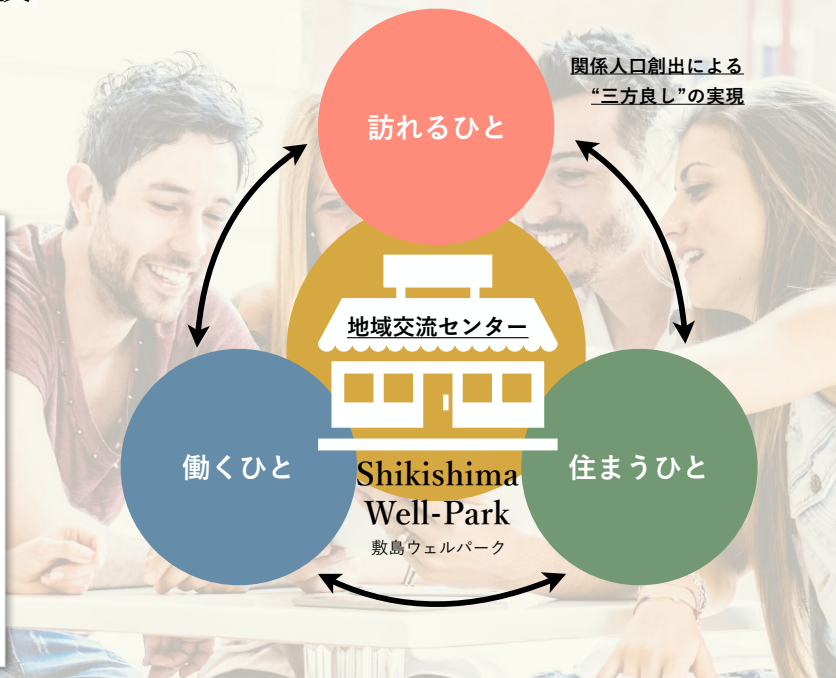
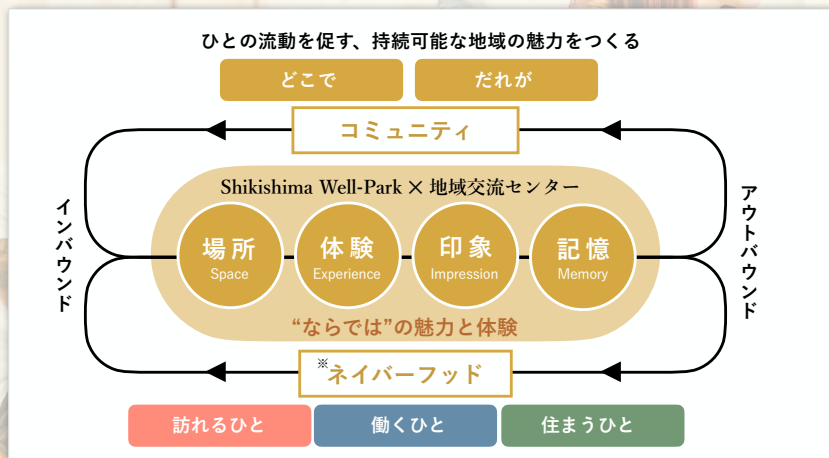
波及効果

- ・持続性の高い植生で構築された緑地は四季を生み出し、来街者が集まるように
- ・歩行者を重視したルートでまちを再構成。公園エリアを生み出し、街を一体化し利便性向上
- ・歴史的建造物と都市機能を融合、まちの文脈を伝える再生は高く評価される
- ・荒廃したエリアを憩いの場に変換し、治安の回復に大きく寄与した

参考：公式HP [<https://www.kingscross.co.uk/>]

コミュニティの新たな活動拠点となる施設

市民が集うシンボルとなる地域交流センター機能を公園内に展開。
既存施設を公民館的市民交流スペースとして施設不稼働期に流用。
市民発の自発的プログラム活動をサポートし、コミュニティの
自主性や参加性、主体性を高め、敷島運動公園の再活性化を図ります。



Shikishima Well-Park × 地域交流センター

事例①：延岡エンクロス（宮崎）

地域の“縁”を繋ぎ合わせるコミュニティ創造の場

延岡市駅前複合施設

エンクロス 延岡市 / 宮崎県



2018年に宮崎県延岡市に誕生。CCCが手がける地域活性化を目的とした市民活動プラットフォーム。公共施設を利用したコミュニティ形成を図り、市民やスタッフによる活動が月間約70件開かれるなど、まちの賑わいを活性化することに寄与。

2020年度 グッドデザイン賞
公共の建築・空間部門 金賞受賞
(経済産業大臣賞)



波及効果 延岡市人口：約11,7万人（2021年10月1日現在）

来館者数 約120万人 まち通行量、駅乗降客数ノ

市民活動開催数 約800件（2～3件/day）

市民活動参加者 1.4万人

出典：CCC資料 2018.4-2019.3

所在地：宮崎県延岡市幸町3丁目4266番地5

敷地面積：8,878.69㎡

延床面積：1,659.54㎡ 竣工年：2018年

設計：有限会社乾久美子建築設計事務所



事例②：マルタス（香川）

丸亀市の住民を支援するまちづくり拠点

丸亀市市民交流活動センター マルタス 丸亀市 / 香川県



2021年3月に香川県丸亀市に誕生。CCCが手がけた『マルタス』は、未来の丸亀を担う一人ひとりの「一歩」を支援するまちづくりの拠点施設。「BOOK&CAFÉ」をはじめ、学習スペースや貸会議室、多目的ホールを完備し、市民の生活に新しい発見や気づきを提供している。

波及効果 丸亀市人口：約10,9万人（2021年10月1日現在）

来館者数 開館1カ月間

約7.9万人 1日平均2,573名

市民活動 相談件数 開館1カ月間

約111件 1日平均3.6件

出典：CCC資料 2021.3-2021.4

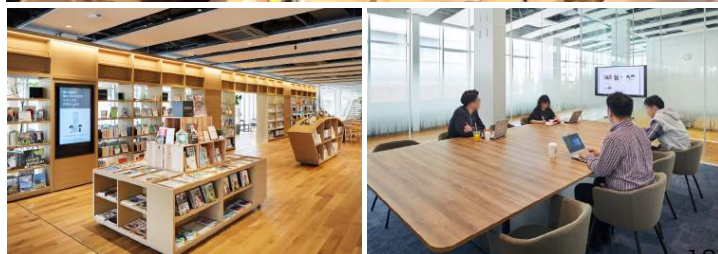


所在地：香川県丸亀市大手町二丁目1番1他
(丸亀市民会館等跡地)

敷地面積：9167.74㎡

延床面積：16366.42㎡

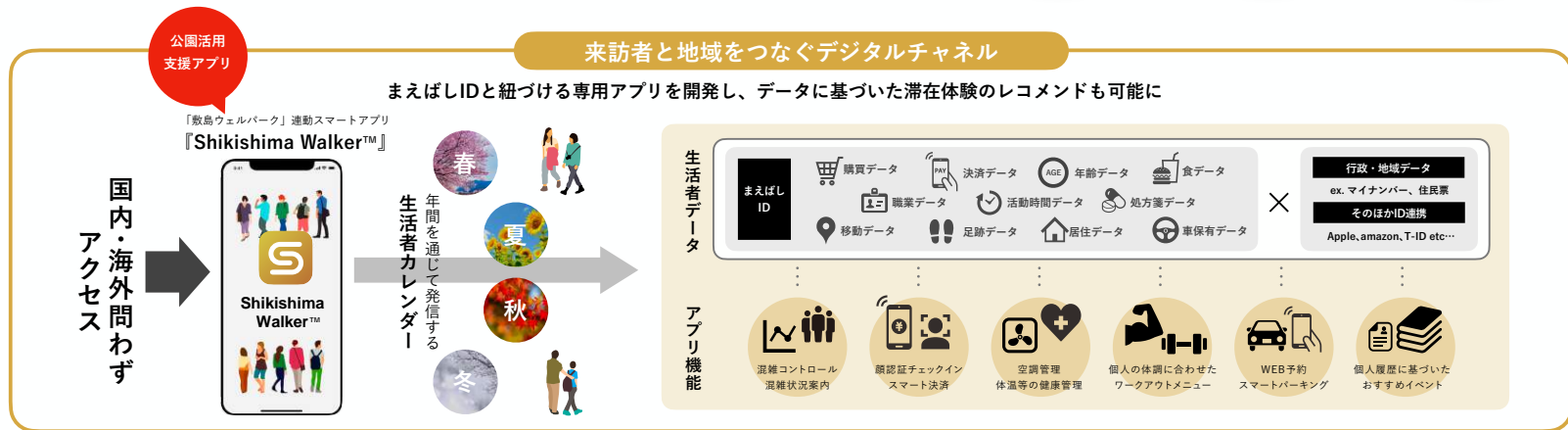
開業：2021年3月22日



スマート文化経済圏の創造

地域と市民がともにデータを育み、価値還元を生み出す拡張型プラットフォーム。

「個人のライフスタイル」と、それを取り巻く「社会」をむすび、テクノロジーとアイデアで価値ある「情報」に磨きあげ、社会に届けることで新しい喜びを提案します。



Shikishima Well-Park×コンテキストマーケティングによる地域活性

創造スキーム：循環型自立生活圏思想

敷島公園エリア循環型自律生活圏

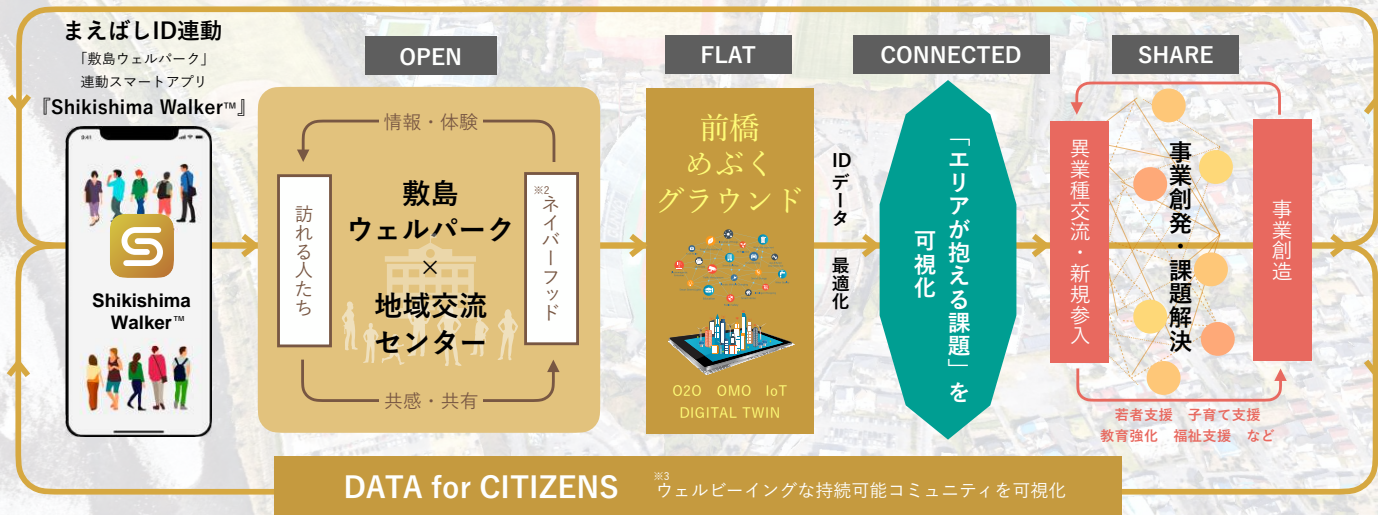
交流から関係へ。地域の知見を活かしたコミュニティ醸成。

人的潜在ポテンシャルを引き出すアップサイクルが地域の活性化と新たな雇用や就労機会を生み出していく。

自然と人とが有機的に交わり変化し続けることで既存環境を「なくてはならない場所」として循環型自律経済基盤化させる。



リアル行動に基づいたデータフィードバック



※1 アップサイクル…不用品や廃物を再利用して、以前よりも付加価値の高い商品を作り出すこと。 出典：大辞林(三省堂)
※2 ネイバーフッド…近所、付近、その区域を指す。また、近所の人々、近隣のよしみ、近所づきあい。 出典：プログレッシブ英和辞典(小学館)
※3 ウェルビーイング…幸福、安寧、身体的・精神的・社会的に良好な状態。特に、社会福祉が充実し、満足できる生活状態にあること。 出典：デジタル大辞泉(小学館)

敷島エリアグランドデザイン
敷島憲章（案）

2023年2月

群馬県・前橋市



敷島ウェルパークにむけて

敷島ウェルパークにむけて

公園づくりの基本理念「敷島憲章」制定

歴史と伝統に培われた自然豊かな敷島公園で、

各種

園内のスポーツ施設を結びつけ、にぎわいと健やかな体験、

世代を超えたコミュニケーションが生まれる新しい交流拠点を構築します。

誰にもひらかれ、こころも体も満たされ、多様な幸せと慈しむ心を感じられる場。

新しい時代の豊かさの象徴として、地域への愛着や誇りを育み、

次の世代に継承し、進化し続けることを願い、ここに憲章を定めます。

敷島憲章

- 1 訪れる人が地域とつながる交流の場をつくる
- 2 こころも身体も元気になれる ひらかれた共創の場をつくる
- 3 地域への愛着や誇りを育み 暮らしの価値向上をめざす
- 4 利根川に接し、赤城、榛名を望む 上毛の景色を次の世代に継承する
- 5 いのちの源として緑と水源を慈しみ未来へ持続させていく
- 6 環境を活かし潤いにつつまれたまちのシンボルをつくる


1

訪れる人が地域とつながる交流の場をつくる

公園を訪れる多様な人々が、地域の自然や文化に触れ、
世代を超えた交流が生まれる拠点を包括的に育てていきます。

こころも身体も元気になれる ひらかれた共創の場をつくる

誰ひとり取り残されることなく、心身共に健康になれる場を
多様な立場の人々と共に生み出していきます。



敷島憲章

3

地域への愛着や誇りを育み 暮らしの価値向上をめざす

地域を思い、主体的に参加することで、愛着や誇りが生まれ、
活力あふれるまちの暮らしや、新しい価値が形成されていきます。

4

利根川に接し、赤城、榛名を望む 上毛の景色を次の世代に継承する

先代から受け継いだ、利根川の松林や雄大な山々の景観を守り、
次の世代へと大切に受け継いでいきます。

敷島憲章

5

いのちの源として緑と水源を慈しみ未来へ持続させていく

古くから地域の資産であるいのちの源を慈しみ、
美しい水と緑の豊かな自然を次世代へと継承します。

環境を活かし潤いにつつまれたまちのシンボルをつくる

恵まれた豊かな自然環境を活かし、人々があたたかく憩う場は
世代を超え、まちのシンボルとして長く愛されていきます。

敷島エリアグランドデザイン(基本構想)(案)

敷島ウェルパークにむけて

敷島公園を訪れるすべての人々の健やかな体験と時間を約束する場とし、持続可能な地域の魅力を創造します。

将来像(案)

策定済

自然風景と行き交う人々の日常を感じながら歩く、

訪れるだけで誰もが元気になる場

コンセプト(案)

まちのウェルネス拠点、敷島ウェルパーク。
自然を感じ、生活者を感じ、今を生きることに感謝できる場所。訪れる全ての人々の健やかな体験と時間を約束する、世代を超えて愛される暮らしと公園が優しくつながる新たなまちづくり。

公園の概念を超えた超公園

策定済

Shikishima Well-Park

敷島ウェルパーク

訪れるだけで
ころが
満たされワクワクする
環境デザイン

誰かと出会い
対話生まれる
交流拠点機能

世代を超えた
共感共鳴を生み出す
感動体験の創出

今回検討

— 敷島憲章(案) —

歴史と伝統に培われた自然豊かな敷島公園で、園内の

各種

スポーツ施設を結びつけ、にぎわいと健やかな体験、
世代を超えたコミュニケーションが生まれる新しい交流拠点を構築します。誰もにひらかれ、こころも体も満たされ、多様な幸せと慈しむ心を感じられる場。新しい時代の豊かさの象徴として、地域への愛着や誇りを育み、次の世代に継承し、進化し続けることを願い、ここに憲章を定めます。

1 訪れる人が地域とつながる交流の場をつくる

公園を訪れる多様な人々が、地域の自然や文化に触れ、世代を超えた交流が生まれる拠点を包括的に育てています。

2 こころも身体も元気になれる ひらかれた共創の場をつくる

誰ひとり取り残されることなく、心身共に健康になれる場を多様な立場の人々と共に生み出していきます。

3 地域への愛着や誇りを育み 暮らしの価値向上をめざす

地域を思い、主体的に参加することで、愛着や誇りが生まれ、活力あふれるまちの暮らしや、新しい価値が形成されていきます。

4 利根川に接し、赤城、榛名を望む上毛の景色を次の世代に継承する

先代から受け継いだ、利根川の松林や雄大な山々の景観を守り、次の世代へと大切に受け継いでいきます。

5 いのちの源として緑と水源を慈しみ未来へ持続させていく

古くから地域の資産であるいのちの源を慈しみ、美しい水と緑豊かな自然を次世代へと継承します。

6 環境を活かし潤いにつつまれたまちのシンボルをつくる

恵まれた豊かな自然環境を活かし、人々があたたかく憩う場は世代を超え、まちのシンボルとして長く愛されていきます。

1 敷島エリアマスターデザインとは

基本構想編に掲げた将来像(案)、コンセプト(案)及び敷島憲章(案)を基に将来のあるべき姿を、よりイメージしやすいように、将来イメージ図などにより、基本構想を具現化したもの。

2 敷島エリアデザインコードとは

敷島エリアの価値向上に向けて、景観の構成要素である「配置」、「色」、「形」、「素材」、「生物種」などについて、空間における共通性や調和性を持たせるための「視覚的な約束事」。



3 検討会の開催予定

※開催時期及び回数については、今後検討のうえ決定する

第1回 本日

- ・敷島憲章(案)に関すること

県民等意見の反映 (パブリックコメント等)

第2回 ~ 第3回

- ・敷島エリアマスターデザイン(素案)に関すること
- ・敷島エリアデザインコード(素案)に関すること

第4回

- ・敷島エリアマスターデザイン(案)に関すること
- ・敷島エリアデザインコード(案)に関すること

県民等意見の反映 (パブリックコメント等)

※県民等意見を反映し修正を行い、必要に応じて検討会を開催

敷島エリアグランドデザイン策定